令和6年9月12日

通学区域制度検証委員会 委員長 殿

大分県教育委員会教育長
山 田 雅 文

大分県立高等学校における魅力ある学校の実現について

次の事項について、理由を添えて諮問します。

- 1 通学区域制度の在り方に関することについて
- 2 地域の高校の魅力づくり及び教育の質の担保に関することについて

(理由)

県教育委員会では、平成16年度に、生徒の減少による小規模校の増加などを背景として、「高校改革推進計画」を策定し、通学区域制度については、平成20年度入試から普通科の全県一区制度を導入しました。これにより、従前の専門高校・学科における全県一区制度と併せて、県内のすべての中学生がその居住地に関わらず、希望する進路に進むことができるよう、中学生の主体的な進路選択を制度では縛らない仕組みとしているところです。

平成25年度には、この「高校改革推進計画」の進捗について、「高校改革フォローアップ委員会」によって検証され、生徒にとって真に望ましい高等学校の整備に向けた報告がなされたところです。

以来、県教育委員会として、高校教育改革のための施策を実施してきたところですが、さらなる社会の変化や地域の実情など、高校を取り巻く状況を踏まえ、これからの時代を、たくましく生き抜いていく生徒の学びを支えるための魅力ある高等学校づくりについて、今後10年間の方向性を示すものとして「大分県立高等学校未来創生ビジョン」を策定、公表しました。この中で、現行の全県一区域制度に関しては、地域を越えた高校進学状況や、学校の特色づくりの状況、生徒や保護者の声等、現状の把握に努め、検証することとしています。

つきましては、大分県立高等学校における魅力ある学校の実現に向けて、通学区域制度の在り方、高校の魅力づくり、県内どの地域の高校でも質の高い教育を提供できる環境についてご審議いただきたく、諮問するものです。